

表の①～⑨の説明

①	事業の通し番号
②	補助(国庫補助を受けて実施した事業)・単独(市単独で実施した事業)の区分け
③	各事業の名称
④	事業の概要等
⑤	国が示した経済対策との関係
⑥	国が示した交付対象事業の区分(地域未来構想20)との関係
⑦	事業の実績額
⑧	実施し事業の実績及び効果
⑨	事業の問題点や課題及び改善点

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨
No	補助・単独	交付対象事業の名称	事業の概要(目的・効果)	経済対策との関係	交付対象事業の区分(地域未来構想20との該当関係)	実績額(円)	事業の実績及び効果 ①実績(参加人数や実施回数、購入物品等の具体的な数値) ②効果(取り組みが誰に対して、どのように作用したか)	事業の問題点や課題及び改善点
					合計	121,157,784		
9	単	施設予約システム更新事業	施設予約をインターネット経由で行うことで接触をなくす。	Ⅳ-3. リモート化等によるデジタル・トランスフォーメーションの加速	④行政IT化	5,756,784	①福津市公共施設予約システム構築及び、施設予約システム対応のプリンターを整備した。 ②令和3年10月1日より利用開始し市民のべ66人が利用。来庁(所)することなく施設の使用予約や施設の空き状況の確認が可能となり対人接触機会が減少し利便性が向上した。	令和3年度時点では10施設が公共施設予約システムを利用可能だったが、利用件数の増加策として令和4年度から対象を13施設に拡大した。一方で、空き状況の閲覧のみで予約に対応していない施設もあるため、オンライン予約が出来るよう対応することや、利用促進のために広報等で市民に周知を図る必要がある。
46	単	観光産品企画開発事業	特産品の発掘・磨き上げ。新型コロナ感染症拡大に影響を受けた地域資源を支援し、新たな付加価値を生み出す消費・投資を促進する。	Ⅲ-1. 観光・運輸業、飲食業、イベント・エンターテインメント事業等に対する支援	⑩地域商社、観光地域づくり法人(DMO)	5,071,000	①新たな地域ブランドとして「NAORAO」の創作、「あんとなッツクッキーのサンド」・「あんとチーズのパウンドケーキ」を商品開発、試食会×1回、試売会×1回 ②新たな地域ブランドとして「NAORAO」を創作し、地元産品を使用した「あんとなッツクッキーのサンド」・「あんとチーズのパウンドケーキ」を商品開発、市内外へPR、販売を開始している。	販路の拡大と安定した商品の供給ができるよう製作体制の構築を継続して進めていく必要がある。

令和4年度新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 事業効果測定シート（令和2年度繰越事業）

49	単	市営自転車等 駐車場他発券 機等整備事業	福津市が運営する自転車等駐車場と自動車駐車場に設置運用している発券機、精算機について、新型コロナウイルスの世界的な流行に伴い、非接触ニーズが高まっている。電子マネーに対応した発券機、精算機を設置するもの。	I-1. マスク・ 消毒液等の確 保	③キャッシュレ ス	8,622,900	①利用者実績 【1号駐輪場】 全体の利用者：131,774人（うち、非接触による清算利用者：3,101人） 【2号駐輪場】 全体の利用者：162,205人（うち、非接触による清算利用者：2,001人） 【4号駐輪場】 全体の利用者：205,694（うち、非接触による清算利用者：6,250人） 【駐車場】 全体の利用者：10,884（うち、非接触による清算利用者：436人） ②施設利用料を非接触で精算できるようになったため、感染拡大防止につながっている。	全体の利用に比べ電子マネー利用率が未だ低いため、掲示物で利用を促す等の対策を講じていく必要がある。	
53	単	小中学校トイレ 改修事業	市内小学校施設の和式トイレを洋式トイレに改修及び床を乾式化することにより、トイレ環境を改善し、併せてコロナウイルス感染症対策を図る。	I-1. マスク・ 消毒液等の確 保	②いずれも該当 しない	28,376,700	①トイレ洋式化工事における小学校6校、中学校3校の実設計完了 ②既存のトイレは和式便器（湿式）であるが、水洗時の飛び跳ね防止等による新型コロナウイルス感染症拡大防止を図る洋式便器（乾式）への取り替え工事を進めるため、実施設計を完了した。	コロナ禍による世界的な半導体不足等による資材調達困難、建設費の高騰が発生しているため、市場動向を注視し計画的な工事発注を行う。	
77	令和3年度に事業を移行しました								
80	単	津屋崎行政セ ンター空調機 能強化事業	新型コロナウイルス感染拡大防止を目的とした施設の換気による空調能力の低下を補うため、空調機器の機能強化を行うもの。	I-1. マスク・ 消毒液等の確 保	①3密対策	19,602,000	①室外機3台、室内機24台の能力向上を図った。 ②感染対策のための換気による空調能力の低下を補い、施設利用者が安心・快適に施設を利用することができた。	今後も新型コロナウイルスの感染防止対策に努めながら、職員や利用者が安心、快適に施設を利用できるような工夫が必要である。	
86	単	いきいき交流 館新型コロナ ウイルス対策 空調能力向上 改修事業	新型コロナウイルス感染拡大防止を目的とした施設の換気による空調能力の低下を補うため、空調機器の機能強化を行うもの。	I-1. マスク・ 消毒液等の確 保	①3密対策	53,728,400	①室外機3台、室内機23台の能力向上を図った。 ②感染対策のための換気による空調能力の低下を補い、施設利用者が安心・快適に施設を利用することができた。	今後も利用者が安心、快適に施設を利用できる感染対策を継続する。	